

北九州循環経済ビジョン推進協議会について

1. 設立の主旨

北九州市では、1997年から「エコタウン事業」と呼ばれる廃棄物の発生を抑えると同時に、産業振興を通じた地域の活性化を目指したまちづくりを行ってきており、若松の響灘地区を中心に、市内には多くのリサイクル関連企業が進出してきました。一方、最近では、持続可能な社会へ移行することが求められています。それに応えるものとして「循環経済（サーキュラーエコノミー）」という新しい概念が提唱されており、サーキュラーエコノミーは、SDGsの目標12（つくる責任、つかう責任）のみならず、SDGsを達成するための経済システムとして注目されています。このような流れを踏まえ、本年3月に北九州循環経済研究会においてサーキュラーエコノミーの概念の下で北九州の環境産業が目指すべき方向性を示した「北九州循環経済ビジョン」を作成しました。今後、北九州でビジョンの実現に取り組むことで、地域一体となった資源循環エリアを創出していくことを目的に「北九州循環経済ビジョン推進協議会」を設立。

2. 活動内容

- (1) 「北九州循環経済ビジョン」具現化に向けた推進構想や事業実施計画の策定
- (2) 環境技術の先進事例の調査・研究
- (3) 連携、プラットフォームの検討、推進
- (4) 「北九州市SDGs未来都市計画」「北九州市グリーン成長戦略」等の北九州市の政策との連携と循環経済促進のための支援の制度的あり方の検討
- (5) その他、地域の循環経済の推進に関すること

3. 構成メンバー（代表、副代表）

代表 北九州市立大学国際環境工学部教授 松本 亨
副代表 北九州市環境局長 柴田泰平
副代表 北九州環境ビジネス推進会(KICS)代表幹事 松尾康志

1

北九州循環経済ビジョン推進協議会の展開について

北九州市の環境課題	循環経済ビジョン報告内容の実現	地元大学の課題
《グリーン成長戦略の推進》 <ul style="list-style-type: none">・脱炭素プラットフォームの構築・コーディネーターの選任・プロジェクトチームの立ち上げ・イノベーションテーマ創出のための場づくり	《協議会に期待する役割》 <ul style="list-style-type: none">■ 報告書における協議会への期待・環境技術の先進事例の調査・研究・循環経済促進のための支援の制度的あり方	《大学連携事業の創出》 <ul style="list-style-type: none">■ 企業との連携における地元大学の課題感・行政、企業の既存取り組みに対する新規性、独自性の付加・循環経済ビジョンと個別研究開発課題の関係性の整理と連携・研究開発課題への動脈産業の巻き込み
《北九州エコタウンの発展》 <ul style="list-style-type: none">■ エコタウン事業への高付加価値化・次世代環境産業の育成・地域循環共生圏の構築・循環産業の高度化	《動静脈連携の必要性》 <ul style="list-style-type: none">■ 動静脈連携による地域循環圏構築・エコタウン企業を中心とした静脈産業と市内製造業などの動脈産業が連携した事業の創出	

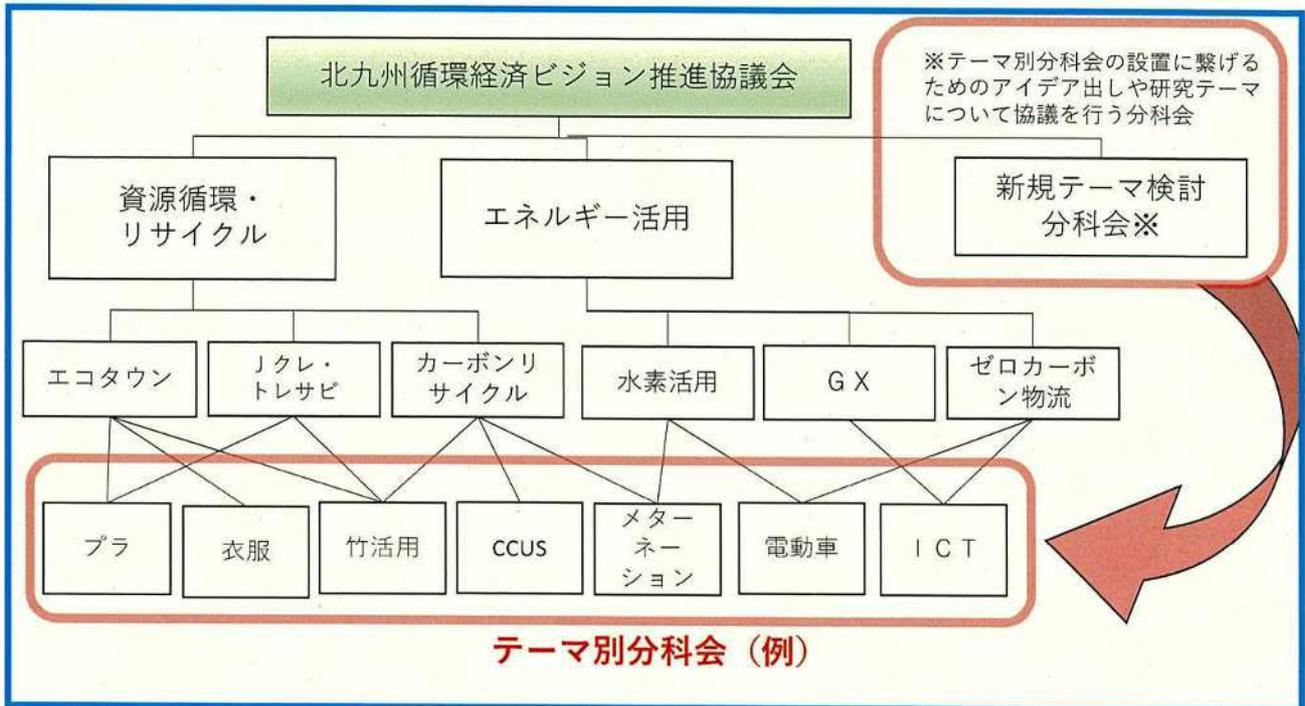
上記の課題や期待を解決するために・・・

協議会においてプラットフォームを創設し、事業化案件創出の動きを加速

- 協議会が運営する（仮称）循環経済ビジョン推進プラットフォームを創設
- プラットフォームにおいて検討する各テーマ別の分科会を設立
- 各分科会に参加するメンバーを選定（協議会役員会）、分科会毎に運営

2

プラットフォーム体系イメージについて



事業化案件の創出

分科会の運営とスケジュール感について

産学官連携の環境産業事業化案件創出のために**テーマ別の運営体制**を構築し、各分科会のレベルや求めるニーズに合わせた運営を実施する事で、**企業の本市独自の資源循環圏構築、脱炭素化社会への貢献**を図る。

